

I

【問 1】 ② （ア）正 （イ）誤

会社法は、主に株主・債権者の保護を目的としており、金融商品取引法は、主に投資者の保護を目的としている。

【問 2】 ④ （ア）誤 （イ）誤

貸借対照表の資産の部は、流動資産、固定資産、繰延資産に区分して表示される。

貸借対照表の資産および負債の項目を流動性の高いものから順に配列する方法を、流動性配列法という。

【問 3】 ④ （ア）誤 （イ）誤

製造途上の仕掛品も棚卸資産に含まれる。

時価の変動により利益を得ることを目的として保有する有価証券は、流動資産に記載される。

【問 4】 ③ （ア）誤 （イ）正

貸借対照表において、繰延資産は独立した区分に記載される。

【問 5】 ④ （ア）誤 （イ）誤

有価証券の購入の際に生じた未払額は、未払金に含まれる。

未払法人税等は、流動負債に含まれる。

【問 6】 ② （ア）正 （イ）誤

その他有価証券評価差額金は、貸借対照表の純資産の部に計上される。

【問 7】 ① （ア）正 （イ）正

【問 8】 ④ （ア）誤 （イ）誤

営業利益とは、本業で生み出した利益のことである。

販売に従事する従業員に支払う給料は、販売費及び一般管理費に含まれる。

【問 9】 ① （ア）正 （イ）正

【問10】 ② (ア) 正 (イ) 誤

直接法と間接法のいずれを採用しても、営業活動によるキャッシュ・フローの金額は同じである。

【問11】 ② (ア) 正 (イ) 誤

株価収益率は、株価を1株当たり当期純利益で割った値である。

【問12】 ③ (ア) 誤 (イ) 正

従業員1人当たり売上高は、定量情報を用いた労働効率指標である。

【問13】 ③ (ア) 誤 (イ) 正

$$\text{総資本経常利益率 } 20\% = \frac{\text{営業利益}900 + \text{営業外収益}200 - \text{営業外費用}100}{\text{資産合計}5,000} \times 100$$

$$\text{経常利益 } 1,500 = (\text{負債合計 } 2,000 + \text{純資産合計 } 4,000) \times \text{総資本経常利益率 } 25\%$$

II

【問1】 ① (ア) 調達源泉 (イ) 運用形態 (ウ) 財政状態

【問2】 ⑤ 5つ

【問3】 ④ イオ

(ア) 満期まで保有する目的で購入した他社の社債のうち、決算日の翌日から起算して1年以内に償還期日が到来するものは、貸借対照表の流動資産に計上される。

(ウ) 繰延税金負債は、貸借対照表の固定負債に計上される。

(エ) 決算日の翌日から起算して1年以内に支払日が到来する固定資産の取得代金は、貸借対照表の流動負債に計上される。

【問4】 ⑤ 5つ

役員報酬、租税公課、交際費、研究開発費、販売手数料

【問5】 ③ 3つ

有価証券利息、受取配当金、有価証券評価益

【問6】 ④ (ア) 安全性 (イ) マイナス

【問7】 ② 2つ

$$\text{総資本回転率} = \frac{\text{売上高}}{\text{総資本}} \text{ (回)}$$

(ア) と (エ) が正しい。

【問8】 ② 240

55%	流動資産	330	流動負債	180	30%
40%	固定資産	240	固定負債	150	25%
5%	繰延資産	30	純資産	270	45%
100%	総資産	600	総資本	600	100%

$$\text{正味運転資本 } 150 = \text{流動資産} - \text{流動負債} = \text{総資産} \times 0.55 - \text{総資本} \times 0.3 = \text{総資産} [\text{総資本}] \times 0.25$$

$$\text{総資産} [\text{総資本}] 600 = \text{正味運転資本 } 150 \div 0.25$$

$$\text{流動資産 } 330 = \text{総資産 } 600 \times 0.55$$

$$\text{固定資産 } 240 = \text{総資産 } 600 - \text{流動資産 } 330 - \text{繰延資産 } 30$$

【問9】 ③ 8,640

「売上高をA 売上原価をB」とすると、

$$A - B = 3,240 \quad \dots\dots (1)$$

$$B \div A = 0.73 \rightarrow B = 0.73A \quad \dots\dots (2)$$

(2) を (1) に代入

$$A - 0.73A = 3,240 \rightarrow 0.27A = 3,240 \rightarrow A = 3,240 \div 0.27 = 12,000 \quad \dots\dots (3)$$

(3) を (1) に代入

$$12,000 - B = 3,240 \rightarrow B = 12,000 - 3,240 = 8,760$$

商品期首棚卸高 + 当期商品仕入高 - 商品期末棚卸高 = 売上原価 なので

$$\text{当期商品仕入高 } 8,640 = \text{売上原価 } 8,760 - \text{商品期首棚卸高 } 1,880 + \text{商品期末棚卸高 } 1,760$$

【問 10】 ③ 2,580

現金及び現金同等物 2,580 = 現金 1,500 + 普通預金 780 + 通知預金 300

【問 11】 ② △146

投資活動によるキャッシュ・フロー△146 = 有形固定資産の取得による支出△270 + 貸付金の回収による収入 68 + 投資有価証券の売却による収入 56

【問 12】 ③ 500

【問 13】 ③ 250

売上高	4,000	50%	流動資産	1,250	流動負債	500	20%
売上原価	<u>2,800</u>		固定資産	?	固定負債	500	20%
売上総利益	1,200	?%	繰延資産	?	純資産	1,500	60%
販売費及び一般管理費	<u>500</u>		合計	2,500	合計	2,500	100%
営業利益	700	?%					
営業外収益	?						
営業外費用	<u>?</u>	100%					
経常利益	500						

売上高 4,000 = 売上原価 2,800 ÷ 売上高売上原価率 70%

売上総利益 1,200 = 売上高 4,000 - 売上原価 2,800

販売費及び一般管理費 500 = 売上総利益 1,200 - 営業利益 700

経常利益 500 = 売上高 4,000 × 売上高経常利益率 12.5%

資産合計 2,500 = 経常利益 500 ÷ 総資本経常利益率 20%

負債純資産合計 2,500 = 資産合計 2,500

流動資産 1,250 = 資産合計 2,500 × 流動資産の貸借対照表構成比率 50%

流動負債の貸借対照表構成比率 20% = 100% - 固定負債の貸借対照表構成比率 20% - 自己資本比率 60%

流動負債 500 = 負債純資産合計 2,500 × 流動負債の貸借対照表構成比率 20%

流動比率 250% =  $\frac{\text{流動資産}1,250}{\text{流動負債}500} \times 100$

【問1】 ③ (ア) 報告式 (イ) 流動性

【問2】 ② (ア) 正 (イ) 誤

x 2 年度の固定資産の貸借対照表構成比率

$$A社 \quad 38.9\% \doteq \frac{\text{固定資産合計}123,423}{\text{資産合計}317,691} \times 100$$

$$B社 \quad 21.8\% \doteq \frac{\text{固定資産合計}62,769}{\text{資産合計}288,150} \times 100$$

A社の負債の貸借対照表構成比率

$$X 1 年度 \quad 20.8\% \doteq \frac{\text{負債合計}64,814}{\text{負債純資産合計}312,227} \times 100$$

$$X 2 年度 \quad 16.5\% \doteq \frac{\text{負債合計}52,530}{\text{負債純資産合計}317,691} \times 100$$

【問3】 ③ (ア) 誤 (イ) 正

B社の粗利益率

$$X 1 年度 \quad 44.2\% \doteq \frac{\text{売上総利益}160,851}{\text{売上高}364,244} \times 100$$

$$X 2 年度 \quad 38.6\% \doteq \frac{\text{売上総利益}204,544}{\text{売上高}530,584} \times 100$$

【問4】 ① (ア) 正 (イ) 正

A社の売上原価率

$$x 1 年度 \quad 75.0\% \doteq \frac{\text{売上原価}256,318}{\text{売上高}341,614} \times 100$$

$$x 2 年度 \quad 77.3\% \doteq \frac{\text{売上原価}302,849}{\text{売上高}391,947} \times 100$$

x 2 年度の経常利益率

$$A社 \quad 7.2\% \doteq \frac{\text{経常利益}28,039}{\text{売上高}391,947} \times 100$$

$$B社 \quad 4.8\% \doteq \frac{\text{経常利益}25,507}{\text{売上高}530,584} \times 100$$

【問5】 ② (ア) 正 (イ) 誤

x 2年度の総資産の伸び率

$$\text{B社 } 7.0\% \div \frac{\text{x 2年度の資産合計}288,150 - \text{x 1年度の資産合計}269,234}{\text{x 1年度の資産合計}269,234} \times 100$$

x 2年度の純資産の対前年度比率

$$\text{A社 } 107.2\% \div \frac{\text{x 2年度の純資産合計}265,161}{\text{x 1年度の純資産合計}247,413} \times 100$$

$$\text{B社 } 118.5\% \div \frac{\text{x 2年度の純資産合計}153,030}{\text{x 1年度の純資産合計}29,186} \times 100$$

【問6】 ④ (ア) 誤 (イ) 誤

A社の売上高の伸び率

$$\text{x 2年度 } 14.7\% \div \frac{\text{x 2年度の売上高}391,947 - \text{x 1年度の売上高}341,614}{\text{x 1年度の売上高}341,614} \times 100$$

A社の売上原価の伸び率

$$\text{x 2年度 } 18.2\% \div \frac{\text{x 2年度の売上原価}302,849 - \text{x 1年度の売上原価}256,318}{\text{x 1年度の売上原価}256,318} \times 100$$

A社のx 2年度における売上高の伸び率 14.7%がx 3年度も継続すると仮定した場合

$$\text{A社のx 3年度における売上高 } 449,563 \div \text{x 2年度の売上高 } 391,947 \times (100\% + 14.7\%)$$

【問7】 ④ (ア) 25,499 (イ) 8,593

(ア) 最初に表示される項目は「税引前当期純利益 25,499」

(イ) 仕入債務の増減額 8,593 = x 2年度の買掛金 36,933 - x 1年度の買掛金 28,340

(負債の「増加」額は、税引前当期純利益に「加算」される。)

【問8】 ③ (ア) 311.8 (イ) 改善

A社の流動比率

$$\text{x 1年度 } 311.8\% \div \frac{\text{流動資産合計}200,486}{\text{流動負債合計}64,302} \times 100$$

$$\text{x 2年度 } 373.5\% \div \frac{\text{流動資産合計}194,268}{\text{流動負債合計}52,018} \times 100$$

【問9】 ① (ア) 152,229 (イ) 改善

**B社の正味運転資本**

x 1年度 125,965 = 流動資産合計 196,626 - 流動負債合計 70,661

x 2年度 152,229 = 流動資産合計 225,381 - 流動負債合計 73,152

【問10】 ③ (ア) 誤 (イ) 正

**A社の当座資産合計**

x 1年度 198,239 = 流動資産合計 200,486 - (商品及び製品 640 + 仕掛品 1,494 + 原材料及び貯蔵品 113)

x 2年度 192,359 = 流動資産合計 194,268 - (商品及び製品 813 + 仕掛品 994 + 原材料及び貯蔵品 102)

**B社の当座資産合計**

x 1年度 192,748 = 流動資産合計 196,626 - (商品及び製品 1,814 + 仕掛品 1,849 + 原材料及び貯蔵品 215)

x 2年度 221,834 = 流動資産合計 225,381 - (商品及び製品 2,271 + 仕掛品 1,019 + 原材料及び貯蔵品 257)

**B社の当座比率**

x 1年度  $272.8\% \div \frac{\text{当座資産合計}192,748}{\text{流動負債合計}70,661} \times 100$

x 2年度  $303.3\% \div \frac{\text{当座資産合計}221,834}{\text{流動負債合計}73,152} \times 100$

【問11】 ② (ア) 正 (イ) 誤

**A社の自己資本比率**

x 1年度  $79.2\% \div \frac{\text{純資産合計}247,413}{\text{負債純資産合計}312,227} \times 100$

x 2年度  $83.5\% \div \frac{\text{純資産合計}265,161}{\text{負債純資産合計}317,691} \times 100$

**B社の自己資本比率**

x 1年度  $48.0\% \div \frac{\text{純資産合計}129,186}{\text{負債純資産合計}269,234} \times 100$

x 2年度  $53.1\% \div \frac{\text{純資産合計}153,030}{\text{負債純資産合計}288,150} \times 100$

【問 12】 ③ (ア) 誤 (イ) 正

A社のフリー・キャッシュ・フロー

x 1 年度 44,665 = 営業活動によるキャッシュ・フロー10,069 + 投資活動によるキャッシュ・フロー34,596

x 2 年度 13,756 = 営業活動によるキャッシュ・フロー15,513 + 投資活動によるキャッシュ・フロー△1,757

【問 13】 ② (ア) 6.6 (イ) 低く

x 1 年度の総資本経常利益率

$$A社 \quad 6.6\% \div \frac{\text{経常利益}20,526}{\text{負債純資産合計}312,227} \times 100$$

$$B社 \quad 8.9\% \div \frac{\text{経常利益}24,053}{\text{負債純資産合計}269,234} \times 100$$

【問 14】 ② (ア) 83,162 (イ) 減少

B社の手元流動性

x 1 年度 118,013 = 現金及び預金 118,013

x 2 年度 83,162 = 現金及び預金 83,162

【問 15】 ④ (ア) 7.6 (イ) 低い

x 2 年度の自己資本当期純利益率

$$A社 \quad 7.6\% \div \frac{\text{当期純利益}20,023}{\text{純資産合計}265,161} \times 100$$

$$B社 \quad 14.5\% \div \frac{\text{当期純利益}22,250}{\text{純資産合計}153,030} \times 100$$

【問 16】 ① (ア) 1.23 (イ) 改善

A社の総資本回転率

$$x 1 年度 \quad 1.09 \text{ 回} \div \frac{\text{売上高}341,614}{\text{負債純資産合計}312,227}$$

$$x 2 年度 \quad 1.23 \text{ 回} \div \frac{\text{売上高}391,947}{\text{負債純資産合計}317,691}$$



【問 17】 ④ (ア) 低く (イ) 他人資本

A社の財務レバレッジ

$$\times 1 \text{ 年度} \quad 126.2\% \div \frac{\text{負債純資産合計}312,227}{\text{純資産合計}247,413} \times 100$$

$$\times 2 \text{ 年度} \quad 119.8\% \div \frac{\text{負債純資産合計}317,691}{\text{純資産合計}265,161} \times 100$$

【問 18】 ③ (ア) 悪化 (イ) 売上高当期純利益率

B社の自己資本当期純利益率

$$\begin{aligned} \times 1 \text{ 年度} \quad 20.6\% &\div \frac{\text{当期純利益}26,640}{\text{売上高}364,244} \times \frac{\text{売上高}364,244}{\text{負債純資産合計}269,234} \times \frac{\text{負債純資産合計}269,234}{\text{純資産合計}129,186} \\ &\div \text{売上高当期純利益率} 7.3\% \times \text{総資本回転率} 1.4 \text{ 回} \times \text{財務レバレッジ} 208.4\% \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \times 2 \text{ 年度} \quad 14.5\% &\div \frac{\text{当期純利益}22,250}{\text{売上高}530,584} \times \frac{\text{売上高}530,584}{\text{負債純資産合計}288,150} \times \frac{\text{負債純資産合計}288,150}{\text{純資産合計}153,030} \\ &\div \text{売上高当期純利益率} 4.2\% \times \text{総資本回転率} 1.8 \text{ 回} \times \text{財務レバレッジ} 188.3\% \end{aligned}$$

【問 19】 ② (ア) 74.7 (イ) 減少

B社の1株当たり当期純利益

$$\times 1 \text{ 年度} \quad 91.2 \text{ 円} \div \frac{\text{当期純利益}26,640}{\text{発行済株式数}292}$$

$$\times 2 \text{ 年度} \quad 74.7 \text{ 円} \div \frac{\text{当期純利益}22,250}{\text{発行済株式数}298}$$

【問 20】 ① (ア) 正 (イ) 正

A社の1株当たり当期純利益

$$\times 1 \text{ 年度 } 38.9 \text{ 円} \div \frac{\text{当期純利益}27,224}{\text{発行済株式数}700}$$

$$\times 2 \text{ 年度 } 28.6 \text{ 円} \div \frac{\text{当期純利益}20,023}{\text{発行済株式数}700}$$

A社の株価収益率

$$\times 1 \text{ 年度 } 15.3 \text{ 倍} \div \frac{\text{株価}595}{1 \text{ 株当たり当期純利益}38.9}$$

$$\times 2 \text{ 年度 } 18.7 \text{ 倍} \div \frac{\text{株価}536}{1 \text{ 株当たり当期純利益}28.6}$$

B社の株価収益率

$$\times 1 \text{ 年度 } 32.9 \text{ 倍} \div \frac{\text{株価}3,005}{1 \text{ 株当たり当期純利益}91.2}$$

$$\times 2 \text{ 年度 } 23.5 \text{ 倍} \div \frac{\text{株価}1,753}{1 \text{ 株当たり当期純利益}74.7}$$

【問 21】 ③ (ア) 誤 (イ) 正

A社の1株当たり純資産

$$\times 1 \text{ 年度 } 353.4 \text{ 円} \div \frac{\text{純資産合計}247,413}{\text{発行済株式数}700}$$

$$\times 2 \text{ 年度 } 378.8 \text{ 円} \div \frac{\text{純資産合計}265,161}{\text{発行済株式数}700}$$

B社の1株当たり純資産

$$\times 1 \text{ 年度 } 442.4 \text{ 円} \div \frac{\text{純資産合計}129,186}{\text{発行済株式数}292}$$

$$\times 2 \text{ 年度 } 513.5 \text{ 円} \div \frac{\text{純資産合計}153,030}{\text{発行済株式数}298}$$

$$\times 2 \text{ 年度 } 1 \text{ 株当たり純資産 } 513.5 \text{ 円} - \times 1 \text{ 年度 } 1 \text{ 株当たり純資産 } 442.4 \text{ 円} = 71.1 \text{ 円}$$

(2024年11月10日：上記計算式を修正)

【問 22】 ④ (ア) 誤 (イ) 誤

A社の株価純資産倍率

$$\times 1 \text{ 年度 } 1.7 \text{ 倍} \div \frac{\text{株価}595}{1 \text{ 株当たり純資産}353.4}$$

$$\times 2 \text{ 年度 } 1.4 \text{ 倍} \div \frac{\text{株価}536}{1 \text{ 株当たり純資産}378.8}$$

B社の株価純資産倍率

$$\times 1 \text{ 年度 } 6.8 \text{ 倍} \div \frac{\text{株価}3,005}{1 \text{ 株当たり純資産}442.4}$$

$$\times 2 \text{ 年度 } 3.4 \text{ 倍} \div \frac{\text{株価}1,753}{1 \text{ 株当たり純資産}513.5}$$

【問 23】 ② (ア) 正 (イ) 誤

A社の時価総額

$$\times 1 \text{ 年度 } 416,500 = \text{株価 } 595 \text{ 円} \times \text{発行済株式数 } 700 \text{ 百万株}$$

$$\times 2 \text{ 年度 } 375,200 = \text{株価 } 536 \text{ 円} \times \text{発行済株式数 } 700 \text{ 百万株}$$

B社の時価総額

$$\times 1 \text{ 年度 } 877,460 = \text{株価 } 3,005 \text{ 円} \times \text{発行済株式数 } 292 \text{ 百万株}$$

$$\times 2 \text{ 年度 } 522,394 = \text{株価 } 1,753 \text{ 円} \times \text{発行済株式数 } 298 \text{ 百万株}$$

$$\times 2 \text{ 年度時価総額 } 522,394 - \times 1 \text{ 年度時価総額 } 877,460 = \Delta 355,066$$

【問 24】 ② (ア) 高かった (イ) 悪化

B社の従業員数および売上高の伸び率

$$\text{従業員数の伸び率 } 49.1\% \div \frac{\times 2 \text{ 年度の従業員数}2,430 - \times 1 \text{ 年度の従業員数}1,630}{\times 1 \text{ 年度の従業員数}1,630} \times 100$$

$$\text{売上高の伸び率 } 45.7\% \div \frac{\times 2 \text{ 年度の売上高}530,584 - \times 1 \text{ 年度の売上高}364,244}{\times 1 \text{ 年度の売上高}364,244} \times 100$$

B社の従業員 1 人当たり売上高

$$\times 1 \text{ 年度 } 223.5 \div \frac{\text{売上高}364,244}{\text{従業員数}1,630}$$

$$\times 2 \text{ 年度 } 218.3 \div \frac{\text{売上高}530,584}{\text{従業員数}2,430}$$